

発行年月日 2024年4月
発行人 会長 大崎 益弘
編集者 黒沢 純一
金子 智久
大久保直子
日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川 2-15-6
〒112-0002 TEL03-3813-7354
題字 山内 貞史郎
https://www.shiatsu-obog.com/



会報

〔令和6年度〕

会長挨拶

日本指圧専門学校同窓会 会長

大崎 益弘



昨年（令和5年）はポストコロナが社会のスタンダードとなり経済活動にも躍動感が感じられ始めた年でした。その令和5年度に同窓会会長に就任し同窓会の原点である懇親、会員相互の交流のための環境整備に邁進してまいりました。同窓会の運営は運営する側と参加する側相互の理解と協力が必須です。

そのために大切なことは同窓会会員の方々の感性に響く同窓会活動の作りこみとそうした企画や考えをタイムリーに一般会員と共有できる仕組み作りが大切と考えます。

会員相互の懇親、交流を具体的に企画、運営することのできる人材、更にそうした企画情報を一般会員に広報する仕組み作りに関わる人材の確保は令和5年度の重要な課題でした。同窓会事業の柱とも言える研修活動を担う人材として浪越指圧治療センターでの豊富な臨床経験があり現在ではご自身の指圧治療院経営をされている大澤昌裕先生、教員資格を持ち非常勤講師として指圧実技講師として活躍される一方ご自身の治療院経営にも携わる碓田雅子先生の両名を研修担当役員に迎えることができました。両先生とも在校生、同窓生との交流も多く研修を受ける方々のニーズをしっかりと分析されて研修企画を練り運営していくことができる有能な人材です。

活性化を目指す文化部は令和5年度より小林秋朝先生が陣頭に立たれて再び活況を呈してまいりました。

そうした研修企画をはじめとする様々な同窓会の活動等の情報発信は同窓会運営の重要な運営基盤でありインフラです。令和6年度はITエンジニアであり指圧師でもある鈴木啓太先生をWEBコミュニケーション推進担当役員に迎えホームページの作りこみだけでなくこれからの同窓会の情報活性化の在り方を整備しながら同窓会会員相互の人事交流、懇親を促進していく作業に着手しております。ホームページは常に情報のメンテナンス基盤が整備されてこそ活かされた情報発信が可能となります。研修会、治療院情報、交流会、施術者傷害保険、税務相談、ホームページ作成に関する相談等在校生、同窓生が必要とする情報、知識、活動等のコンテンツが常にラインアップされている実務的な窓口としての機能を盛り込み情報ツールとしての役割を提

供してまいります。

更に令和5年度は同窓会の健全運営のために必要な運営委員会の再整備の準備を進めてまいりました。長期的且つ公正な同窓会の健全運営のためには役員会、運営委員会による均衡のとれた運営体制の整備が重要です。かつてのように200人を超える巨大な運営委



デザイン：鈴木啓太(49期)

員体制ではなく役員会と運営委員会で実質的な話し合いができる機能的な運営委員会を再構築すべく取り組んでまいりました。役員会の方針や企画に対して同窓会会員の代表である運営委員が意見を出し合いバランスのとれた運営を目指すことは人間の身体に例えればお互いが交感神経と副交感神経の作用を持つ役割となります。そんな新しい運営委員会の新体制についても令和6年度総会にて皆様に承認を頂くべく準備しております。

令和6年度は令和5年度に整備された同窓会機能を活用して同窓会会員の皆様にご利用頂ける同窓会を目指してまいります。

多くの同窓会会員の方々が立ち寄り参加できる同窓会作りに邁進してまいりますので宜しくご支援の程お願い申し上げます。令和6年度の会長挨拶とさせていただきます。

訃報

日本指圧専門学校同窓会前会長岩本健一様が令和6年1月10日にご逝去されました。岩本前会長は平成29年に同窓会会長に就任され同年夏に健康状態を崩し、さらに新型コロナウイルスによる自粛生活を余技なくされておられました。令和4年には体力の限界を自覚され会長職を退任されましたがその後も同窓会に想いを寄せ続けての最期となりました。

同窓会一同ここに謹んで哀悼の意を表します。



〔令和5年度〕

通常総会が開催されました

日本指圧専門学校同窓会の令和5年度通常総会が、令和5年6月11日(日)、日本指圧専門学校にて開催されました。

出席者は在校生も含め約80余名、定刻11時を少し回り、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催されました。

大澤昌裕先生の司会のもと、君が代斉唱、大崎益弘会長代行の挨拶と続き、浅谷健介名誉会長からご祝辞を頂きました。

総会の議事は①役員改選、②令和4年度事業報告、③文化部報告、④令和4年度会計報告、監査報告、⑤令和5年度事業計画、⑥令和5年度予算案について行われ、予定時刻をオーバーする数々の質疑応答の後、全員の拍手により会長就任を承認されました。

その後の記念講演では、「父・浪越徳

治郎を語る」と題して、学校法人 浪越学園 日本指圧専門学校理事長であられる浪越和民先生による講話が行われました。

なかにはビデオ撮影や録音をされる熱心な会員もいらっしゃいました。

浪越徳治郎先生の数々の興味深い偉業とご子息であられる浪越和民先生との思い出と絆など、大変貴重なお写真をプロジェクターで大きく映し出して下さり、貴重なお話を交え、感銘を受けました。

午後からの懇親会は、新入会員歓迎懇親を兼ね、和やかな雰囲気の中、進められました。日本指圧専門学校理事長であられる同窓会名誉顧問浪越和民先生の名誉顧問挨拶、新同窓会会長大崎益弘先生の会長挨拶と続き、乾杯の挨拶、続いて和やかな歓談に移りました。今回も立食パーティー形式にしたことで、新旧会員

の交流も盛り上がり、思い出話や業界の事、仕事の事など話に花を咲かせていました。

最後に、校歌を全員で斉唱し、そして閉会の挨拶と続き、これをもって本



通常総会は閉会となりました。

*本総会の記念講演「父・浪越徳治郎を語る」の内容は日本指圧専門学校同窓会ホームページにてご覧頂けます。

URL : <http://www.shatsu-obog.com/>



〔令和5年度〕
第1回

同窓会指圧研修会

浪越指圧治療センター

第51期 長濱 有子先生

「浪越指圧治療センターにおける施術」と題しまして、7月22日(土) 日本指圧専門学校同窓会主催の指圧研修会を開催しました。

本年度は、女性講師にスポットを当てた研修会・女性の指圧師としてそれぞれの分野の実績を披露してほしい、基本指圧一筋の成果を在校生に披露してほしいと同窓会会長、大崎先生より声をかけて頂き、初めて講師をすることになりました。

まず初めに、浪越指圧治療センターの歴史について
1939年(昭和14年) 文京区小石川に「浪越指圧治療院」を開院
治療院開業後、指圧技術普及のため翌年学校が設立された。



1968年(昭和43年) 5階建ての校舎を建設し、教室は3階と4階、実技室は5階、治療院は2階(大部屋約20マツトで施術)。1階にお風呂とサウナがあったとお話すると、参加学生さんは非常に驚いていました。

浪越指圧治療センターは、ファミリー指圧教室を開催しているのも特徴です。基本指圧を教える事で、改めて基本指圧の重要性がわかってとてもためになっています。

その他、スポーツ関連施設のトレーナー派遣、海外から指圧を学びに来る方の講習会のサポートも行っていきます。

浪越指圧治療センターではスタッフ全員、基本指圧・全身指圧を前提に施術を行っています。

【実技講習】 伏臥位肩甲上部・肩甲下部

指の使い方・指紋部で圧す・四指の重
要性を踏まえて、基本指圧

【症例】 60歳女性数年前から不定期で
肩など全身の疲れで、来院。令和4年1
月左五十肩(肩関節周囲炎) 疑い

痛みの部位・左肩・左上腕
【施術内容】 横臥位肩甲上部・肩甲拳

筋・肩甲間部・三角筋 仰臥位腋窩部・
三角胸筋部・上腕外側部・小円筋

最後に、母指のケアの仕方をアドバイ
スして講習を終えました。

同窓会への、初めての参加が講習を担
当するとは思わずごく、緊張してしま
いました。

浪越雄二先生のアドバイスと同窓会役
員の先生方に、力をお借りして、深く感
謝申し上げます。



〈感想〉

指圧のおもしろさと、 身体の大切さ

第66期 中島 亮

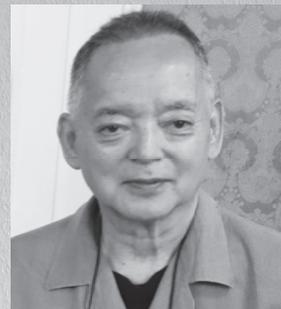


東京に遅い梅雨明けが発表された7月22日の
土曜日、外は炎天下という中で、同窓会主催の
研修会は開催された。今回の講師は浪越指圧治
療センターの長濱有子先生。私が昨年、学校に
入学して間もなくの頃、初めてセンターを訪れ
た時に担当してくださったのが長濱先生で、そ
んな懐かしさも噛みしめながら研修に臨んだ。

研修の内容としては、浪越指圧治療センター
の歴史を含めた説明を少々された後、先生の指
圧のデモを経て、ペアを組んでの練習へ。いく
つか応用手技もあったが、ほとんどは伏臥位、
横臥位の基本指圧の復習であった。その中でも、
「押圧時になるべく下を見ない」しっかり顔を
上げた姿勢で」とか「自分の身体に無理のかか
らない姿勢・スタンスで」といった基本である

がなかなか普段の練習でも忘れがちなこと、で
きていないことも丁寧に教えてくださった。ま
た「肩甲間部の1点目をしっかり押せると喜ば
れる」といった指圧の現場ならではのコメント
も聞かれた。

先生のお話の中で個人的に印象的だったの
が、①「指圧はおもしろい。奥が深い」と、②「自
分の身体を壊さないことが一番。そのためにも
自分の身体のケアをしっかりすること」の2点
である。ご自身なりに追及されて、おもしろさ、
奥深さを実感され、そんなおもしろくて奥の深
い指圧だからこそ、身体を壊してその道を断念
するなんて勿体ない。だから「自分の身体ちゃ
んと大切にすんだよ」という先生からの愛
情のこもったメッセージだと感じた。



〔令和5年度〕

第2回同窓会指圧研修会

腰痛と頸部痛の

治療講習会

塾 SHIATSU PRACTICATOR 塾長

第25期 小野田 茂先生

2023年 9月1日、9月2日、日本指圧専門学校道場において、小野田茂（日西指圧学院院长）が、日本指圧専門学校同窓会主催の指圧研修会に招かれ、腰痛症と頸部痛の治療法について、両日約30人前後の在校生、及び卒業生を対象として開催されました。

一日目が頸部の治療、二日目が腰部の治療という事で、ことを進めてまいりました。

指圧が、今の現代人にどういうイメージをもって受け入れられているでしょうか。

指圧治療の創設者浪越徳治郎先生亡き後、かなりの年月が経ち、桂小金治アフトアーンションによる爆発的な指圧ブームを知る年代もかなりのお年を召されるようになりました。

世界の四大手技療法（按摩、マッサージ、カイロプラクティック、そして指圧）の一つとされる指圧を現代人は、どのように活用しているのでしょうか。

日本の大都市のほとんどの駅前には、

癒しと称して、手技療法が店を並べています。これはこれで、名称は違っててもそれなりの目的をもって店を構えているので、商売としては成り立っているんだと思います。それなりの需要があるんだと思われれます。

パーソナルコンピューターの使用や携帯電話の多使用（スマートフォン症候群）などが、現代人に与えるストレスは、相当なものがあると考えられています。日々日常使用するコンピューター及び携帯電話の多機能は勿論のこと、その上持ち運びに便利な小型化が常識となり、その便利なものの使用が三度の飯同様に目及ぶストレスが想像以上の毎日と言えます。

また電磁波等の問題もあり、現代人は過酷な世界が今と言えます。目から脳に伝達される画面の内容は、次の動作としてパターンに沿って事が処理されていきます。

この並々ならぬ緊張の延長上にストレスがあり、物理的に見ればそれは俗にいうコリと言われるものかもしれませんが最初は、フィジカルなストレスが筋肉の拘縮として現れます。

俗にいう肩こり首凝りかもしれない。そのストレスを処理しないで、生活的悪習慣を続行すると終いには、メンタル疾患に陥ってしまいます。

これは、昔から言われている心身一如が、保たれない状態と言えます。フィジカルとメンタルのアンバランスが、及ぼす体への影響と言えます。私たち日本人は、昔から教養として気の言葉を含んだ会話を知らず知らずに行っています。

また文章においても同じく何気なく気という言葉を使用しています。気の病が、



最初は、フィジカルなストレスが筋肉の拘縮として現れます。

俗にいう肩こり首凝りかもしれない。そのストレスを処理しないで、生活的悪習慣を続行すると終いには、メンタル疾患に陥ってしまいます。

これは、昔から言われている心身一如が、保たれない状態と言えます。フィジカルとメンタルのアンバランスが、及ぼす体への影響と言えます。私たち日本人は、昔から教養として気の言葉を含んだ会話を知らず知らずに行っています。

また文章においても同じく何気なく気という言葉を使用しています。気の病が、



病気と言われるように、魂が体を動かすといったイメージを持つことも東洋人には可能はずです。

そこに手当て、手遅れという言葉が日常のありきたりの会話でも使用されま

す。この辺が虚実のイメージであり、自律神経の交感神経と副交感神経のバランスといった間接的な指圧理論につながるものも含まれています。

しかしここ西洋に40年にわたり、そして毎日のように患者様の身体に接触していた私が、はっきり言えることは、外人、特に西洋人は、心身一如という熟語は存在しないという事です。

こちらで、医学を習った医師は、体と心の一体感とバランスが健康を保つという意識が想像できません。この辺がいた

わりの精神なのですが、この辺も西洋医学では存在しません。検査の数値が健康、不健康の判断基準です。スキャンに映った結果が、診断の決め手になります。長年の勤はむしろ邪魔になります。誤診のもとになります。

よく眠れますか、食欲はありますか。この問いが医者最初の問診になるのですがこの辺もはや医学には存在しません。

この辺の所の隙間を改善修理するのが「指圧の心、母ごころ」のいたわりの精神のある指圧となります。これがある限り指圧は、未来に光り輝くありがたい仕事と言えます。

理学療法士、柔道整復師、鍼灸師、カイロプラクティックドクターの仕事、すべてに独自のマーケットがあります。そし

て、それぞれの世界でビジネスが成り立っています。

それでは、指圧マーケットの現代の存在価値はなんでしょうか。

痛みを取る、不快感の削除、勿論この程度の初期治療は常識です。

しかし指圧が、未来に輝くためには、何が必要かを考えなければなりません。そして、今までどうして指圧が消えずに光り輝いているのかを、今一度考えることが必要になります。

施術が終わって感謝の有り難うの言葉を頂く職業である指圧の尊さと指圧を業として生き抜く指圧師の誇りをご理解していただきたかったです。どうだったでしょうか。またお時間を頂ければ再び壇上に立ち、指圧を語りたくと思っています。ありがとうございます。



〈感想〉

小野田先生の 研修会に参加して

第66期 熊坂 雅之

この度は貴重な学びの機会をありがとうございました。主催いただきました同窓会の幹事の皆様には心より感謝申し上げます。

二日間の研修会に参加させていただいて一番印象に残っているのは先生の指圧に対する誇りと熱い思いと崇高な志です。浪越指圧の素晴らしさを世界に広め、多くの人のために役に立つと海外で活躍されていらっしゃるお姿は、

我々在学中の学生にとりまして大きな刺激となりました。本当にありがとうございます。また、指圧の一番の効果として自律神経を整えるなどの「精神的治療」を強調されていたことも印象的でした。昨今、スマホの普及に伴う姿勢の悪化から引き起こされる各部位の疾患が増えており、時代が指圧を求めているというお話しには強い使命感が湧き上がりました。この姿

勢の悪化に対して特に重要な施術ポイントは胸鎖乳突筋、腸腰筋、前脛骨筋であるとお話や、二日目の中心テーマだった腰痛への具体的なアプローチ方法の説明と実演は現場における治療にとっても参考になる内容でした。

今回、学校の授業では学ぶことができない貴重な



〈感想〉

小野田茂先生の 研修会に参加して

第66期 藤野 祐子

9月1、2日の二日間、ヨーロッパで40年もの長きに渡り活躍されている小野田茂先生の研修会が学校内で、それも無料で開催されると聞き迷わず申し込みました。校内での研修会は参加しやすく学生にとっては大変有難いです。

小野田先生は距離を感じさせないストレートでユーモアのあるお人柄であったという間の3時間でした。

世界の4大手法は①中国の按摩②ヨーロッパのマッサージ③アメリカのカイロプラクティックそして④日本の指圧だから指圧には未来がある、とお話、また、分かる人が見れば浪越指圧はみな同じ、本物はシンプルで変わらないとのこと、在学中に浪越指圧をしっかりと学ばねばとの思いを新たにしました。

初日のテーマは「スマホ社会における指圧療法」で、スマートフォン症候群の方は骨格バランスが崩れており、鍵になる筋肉は「胸鎖乳突筋」「腸腰筋」「前脛骨筋」で、主にストレートネック

重な学びを得ることができ、研修会に参加して本当に良かったと思っております。今後またこのような研修会が開催される際にはできる限り参加したいと強く思いました。本当にありがとうございました。

クへの対応をご教授いただきました。

ストレートネックは自律神経の乱れに繋がりがり体調不良の原因にも成りえてしまいます。若者にも多い症状なので日本の未来の為に首周りの施術は大事にしたいです。

基本指圧の前頸部への指圧は胸鎖乳突筋を指標にしますが、内側を意識すると迷走神経にアプローチでき自律神経バランスに繋がるそうです。

また、後頭下筋群、特に乳様突起周辺や経穴「完骨」への指圧、ストレッチを加えた指圧も良いそうです。

時間いっぱいはいっぱい大変実のある内容で、今後の学びに活かしたいと思えます。

小野田先生ありがとうございました。また、同窓会会長の大崎先生はじめ役員の方々に感謝申し上げます。



〔令和5年度〕

第3回

実技研修会を終えて

浪越学園 専任教員

第51期 青木 美稚子先生

浪越学園の専任教員として務めさせていただき今年で12年目になります。年度初めに、今年度は学校の教員による実技研修会を行いたいという大崎会長のご意向により拝命し、僣越ながら第3回の講師を務めさせて頂きました。

2020年、あん摩マッサージ指圧師国家試験の出題基準は大きく変わりました。出題数はそれまでの150問から160問に増え、後半の80問のほとんどを東洋医学系の科目が占めるようになりました。本校における東洋医学関連の授業数も増加し、ここ数年は東洋医学的な考えに基づいた治療や、経絡経穴を用いた治療に興味を持つ学生が増えてきたように思います。そこで今回の研修では、①東洋医学(中医学)的に婦人科疾患(月経困難症、月経前症候群、更年期障害)をどう考えるか、②その治療に浪越指圧の特徴である腹部指圧および応用操作として下肢内側の施術を用いることで効果的な施術ができるのではないか、という2点に焦点を当ててお話ししました。

前半は講義、中盤から後半にかけては腹部の触診と指圧、下肢内側の指圧を行いました。



機序があり、四診による鑑別が必要になります。同様に月経困難症は2通り、更年期障害は3通りの中からその人のタイプを鑑別します。鑑別によって圧の入

れ方や抜き方、選穴の仕方など様々な考え方がありますが、今回はシンプルに基本の手順の中に、腹部では任脈、腎経、胃経、脾経を、下肢では今回扱った婦人科疾患すべてに関連する足の陰経(足厥陰肝経、足太陽脾経、足少陰腎経)に沿った施術を行いました。普段行っている基本指圧の圧点とは異なる部分も多くあり、初めて押される感覚や初めて押す感覚など各々新たな発見があったようです。また、腹診の際の圧加減が難しいという声が多く、改めて腹部における掌圧



〈感想〉

青木先生の
研修会に参加して

第65期 鈴木 加奈

以前から私自身も悩んでいたPMS。身近な人にも、月経や更年期に関わる悩みをもつ女性が多いです。婦人科系疾患に着目し、東洋医学と腹部指圧がテーマ、そして、熱くて母心に溢れた青木美稚子先生が講師をされるということで期待が高まりました。

研修会では、「月経困難症」「月経前症候群(PMS)」「更年期障害」に焦点を置き、東洋医学における婦人科系疾患の考え方、病症の違い、関係する経脈を混じえた腹部・下肢の指圧方法をご指導くださいました。また、施術前の問診では婦人科系症状や既往歴を必ず聞く重要性も強調されました。男性の参加者も多く、性別関係なく熱心に理解を深めていこうとする雰囲気を感じました。

実技練習では、問診から腹診の流れ、実・虚の症状に合わせた圧の抜き方、経脈に沿った指

での「診断即治療」の難しさと奥深さに触れたような気がしました。まだ授業で東洋医学に触れていない1年生には難しい内容だったと思いますが、皆さんとても積極的に参加してくれました。

今回の研修への皆さんの姿勢や熱意から、私たち指圧師が浪越指圧を用いて東洋医学の方面からもアプローチできる可能性を改めて感じました。このような機会を頂いたことに感謝いたします。ご参加下さった約40名の在校生および卒業生の皆様、ありがとうございました。

圧を練習しました。特に、腹部指圧を受けた時には、任脈・腎経・胃経・脾経に沿った4線を圧されることで、基本指圧とはまた違う心地良さを味わうことができました。

今回の研修会に参加し、授業で勉強してきた東洋医学が、浪越指圧にどう活かしているかが学ぶことができました。私の中で点と点が繋がりに線になっていくような感覚があり、今後、東洋医学の考え方を更に詳しく知りたくなりました。自分がPMSで辛い時にも役立てていきたいと思えます。また、将来臨床に出るときには、西洋医学と東洋医学の両方の視点から、柔軟な対応ができる指圧師になりたいと感じる機会となりました。

この度の研修会開催に際し、講師の青木先生、ご準備くださった同窓会役員の皆様方に心から感謝いたします。ありがとうございました。

文化部の活動報告



文化部長
小林 秋朝先生



日本指圧専門学校同窓会「文化部」は、2018年に創設して6年目を迎えます。

文化部発足の目的は、同窓生間の親睦と在校生(同窓会準会員)と同窓生の交流を行事を通して深めることです。

文化部行事は、四季を通して年4回を目標にし、アウトドア系・理科系・自然科学系・芸術系・文学系・芸能系・等々、幅広く取り上げています。

文化部の活動の行事は、卒業生や在校生が自由に参加し、お互いの垣根を越えて交流を深め合う場となったり、また志を一つにする学生同志が親睦を深める憩いの場にもなっています。

文化部の懇親会は、この道数十年のベテランの先生や、卒業されてまだ期の浅い先生達の貴重な施術体験談や、各々が興味のある事柄の話が聴けるなど大変有意義な会となり、さらに卒業生間の旧交を温める場として大変喜ばれています。

文化部は、こうした出会と交流を通じて互いに見聞を広め、新たな発見、知識、教養が磨かれ豊かにしてくれる部として期待されています。

【文化部活動歴】

2018年

1回「迎賓館赤坂離宮」

2回「人体の神秘」

上野国立科学博物館

3回「縄文1万年の美の鼓動」

東京国立博物館

4回「横浜港散策」氷川丸見学・

カップヌードルミュージアム

2019年

5回「お花見卒業祝賀会」

上野恩賜公園・韻松亭

6回「鎌倉散策」

江戸東京博物館

8回「高御座(たかみくら)」

天皇陛下即位の御座、東京国立博物館・「旧岩崎邸」

『3年間休会』

2023年

9回「お花見卒業祝賀会」

上野恩賜公園・韻松亭

10回「江ノ島散策・岩屋洞穴・鎌倉」

11回「伝統の和食・自然の知恵」

上野国立科学博物館・韻松亭

【募集広告】同窓会HP掲載・学内に随時掲載されます。

【行事報告】同窓会HPに感想文が掲載されています。

【参加費用】個人負担

文化部行事に同窓生、在校生のご参加を期待しています。

同窓会ホームページ

ぜひご利用ください!

皆さんは、同窓会ホームページをご覧いただいていますでしょうか?同窓生が参加できる研修会や交流イベントの情報、開業している方が掲載できる治療院ガイド、会員の寄稿から、お引越しの際の会員情報変更まで、様々な内容を扱っています。只今リニューアルも検討中。今後ともご注目ください!

shiatsu-obog.com



新役員紹介

第52期 大澤 昌裕先生



この度同窓会研修委員に任命されました、52期の大澤昌裕でございます。私は卒業後に7年間浪越指圧治療センターで経験後、野田市で治療院を開業し地域で活動しております。浪越指圧治療センターでの経験を活かして同窓会での研修を基礎基本指圧を軸に時代マッチしたテーマを選定して魅力ある同窓会のお手伝いを出来るように精一杯努めたいと思います。もし興味あるテーマがございましたら是非お声掛け下さい。任期満了までどうぞよろしくお願い致します。

第43期 碓田 雅子先生



同窓会研修委員を担当することになりました43期卒業の碓田雅子です。指圧師として卒業後すぐに開業し20数年経ちます。今まで卒業生の方から開業や研修会について相談を受けることが多々ありましたが、今後は、その声を直接同窓会に伝えることが出来ますので、同窓会の一員として可能な事柄からでは有りますが、卒業生の皆さんのサポートを進めて行きたいと思っております。よろしくお願い致します。



開業奮闘記 むつば指圧院 院長 第56期 村山 寛弥先生

●2023年11月28日

大恩人である担任青木美稚子先生より「やつほー 同窓会の会報に開業奮闘記を書いてくれないか?と金子智先生からお願いで、3200文字で1月15日迄。」とのLINEがあり、12月、1月と予定が詰まっていたので即座にお断りはしたもののその後、これまで大変お世話になった智先生のあのヘアースタイルと残念そうにしているお顔が思い浮かび、ふだんでも先生に足をむけて寝られない私は、僣越ながらお引き受けすることにしました。

初めはあまりにも多い文字数に驚いてしまいました、実際に書きはじめると単行本が一冊出来てしまうほどの字数になってしまい(笑)思い切って手短かにまとめさせて頂きました。

●感謝の日々

2022年4月。96歳になる祖父六助が亡くなった。祖母曰く、六助と言う名前がわが町に祖父しかおらず、有名人。どこに行っても「あんだはどこの子だ?」と秋田なまりで尋ねられると「六助の孫です」そう答えると分かってもら

えた。おまけに祖父は亡くなる一週間前

まで自転車畑仕事に向かっており、誰もが百歳以上生きるだろうと思っていて、葬儀の時にも任職は、「この前自転車に乗っているところを見かけたよ」と驚ろかれた。好きな事を好きにして生き抜いた人だった。まさにピンピンコロリを絵に描いたような人生だったと言えらる。急性間質性肺炎、突然の出来事に驚いたが、祖父が亡くなってから気付いた事は毎日生きていることが奇跡のように思われて、有難く思えてならなかった。その日から毎日、朝夕手を合わせご先祖様にご縁を頂いた全ての方に感謝をして一日を始め、終わるようにしている。

●指圧師

指圧師になるとは夢にも思っていなかった。0%である。というのも私が生まれた秋田県天王町(現・潟上市)に指圧を受けられる所は無かった。従って全く知らずに入学した。

指圧の道に導いてくれたのは5歳年の離れた弟だった。弟は交通事故に遭ったのを機に指圧と出会い(後に師匠に弟子入りし)「学校に行くから一緒に行かな

いか?」と私を誘った。当時28歳秋田の母校で高校野球の監督を目指して野球部のコーチを務めていた。肩書きは偉そうだが、実際は臨時職員等を転々としており、収入や身分の保障など一切無かった為、弟の誘いに乗る事に決めた。

●日本指圧専門学校

自分の人生とは無縁と思っていた花の都大東京。学校はその東京にあり、右も左もわからずに弟に連れられ受験した。校門の銅像を見て初めて気がつく「えっ!ジェット浪越の学校?」思えば日曜夜の『元気が出るテレビ』が大好きだった。入試は学科試験がなく、小論文と面接のみ。

「指圧師となって地域社会に貢献したい」その他にも面接官の黒沢先生と本多先生に大法螺を吹き、大そう偉そうな事を言ってしまったが結果、56期新入生代表として入学してしまっ

●破天荒な学生時代

田舎の長男として生まれ、多少なりとも野球が上手かった私は、それまでの人生で、下積み生活や勉強など一切してこなかった。そこには常に野球という逃げ道があったからだ。

突然として不意に始まった弟子入りと貧乏学生生活。当然ながらどちらも初日から付いて行けず、日々「秋田に戻りたい」と思いながら過ごした地獄の3年間だった。国試に合格出来たのは奇跡である。当時の私を表現するならば、井の中の蛙で世間知らず。人間ではなく日光猿軍団の嫉まされてない野生の山猿だった。

試験は毎日が赤点で再試。進級の時は

必死に先生方に頭を下げる。どうやって進級できたのか……。一番の恩人は担任の青木先生と当時の石塚寛校長。一つ年上の担任にはいつも「お願いだから真面目にやって!」と耳にタコが出来た程お叱りを受けていた。正に首の皮一枚繋がった状態で国試を受けられる事になった。国試前日までの一ヶ月に渡る校長室でのマンツーマンの猛特訓。今となっては懐かしい。

先生方には申し訳ないが、自信は全く無かった。ところが、担任の山勘が大当たりしてまさかの合格!私は三兄妹だが、三人とも全員が指圧師。浪越学園様で感謝してもきれない。ちなみに弟と妹は優等賞をもらって卒業したの(大笑)

●指と実家

神奈川県は訪問指圧師として働き腕を磨いた。当初秋田に帰るつもりだったが、結婚して子供が生まれたので家を買った。そこで幸せに暮らしていたが、新型コロナウイルス騒動が私の人生を一変させた。身体を壊し、離婚し、退職して今まで築いた全ての物を失い、身も心もボロボロの状態で仕事もせずに一年半程後悔の日々を過ごしていた。気が付けば多額の借金だけが残った。

●マイナスからのスタート

家族が大好きな私は自分の家族を失った事を悔み続けていたが、ある人から「子供は子供で別人格、親が思っている程不幸ではないよ。そのうち大きくなったら会いに来るでしょう。その時にしっかりとしていればいいんじゃない。」ハッと目が醒めた。私自身、親の言う事など全く聞かずに自由に生きて来た。子供には簡



単に超えられない背中を見せよう。そう覚悟し、気持ち切り変える事が出来た。幸運な事に私には「指と実家」があった。

原点に帰る時が来た。亥年生まれで猪突猛進な私は独立開業一本に絞り突き進んだ。

●2022年6月10日開業

開業日を先に決めた。理由は日が良いから。

場所は実家。理由は家賃が要らない事と過疎化が進み周囲は店も無く地域に元気がなかったから。他の事はスムーズに決まったが、院名にはとても悩んでいた。平行して取組んだ事は、個人事業主となる為の勉強。失敗は許されない状況である為、売上目標を設定し、本やYouTube等で勉強した。

ある日、市の商工会が主催する起業ゼミに参加。ここでの出会いがまた人生を加速させてくれた。担当者曰く、「村山

さん補助金が貰えます。移住枠なので50万円」「え！本当ですか？」しかも手続きまで全て無料だった。頼もしき商会！初めはそんな旨い話はないと疑っていたが、今ではすっかりお世話になり、貴重な人脈、経理、経営面で助けて頂いている。

●「むつば指圧院」に決定！

開業準備中に亡くなった祖父は、無念だったに違いない。

当初から堅苦しい院名にはしたくなかった。

私の特技は二つ。素潜りと多葉のクローバーを瞬時に見つける事。最高は六葉を三度見つけた事がある。六葉の発生確率は1600万分の1。発見時はとても感動した。丁度4月に再び六葉を見つけたところだった。むつば指圧院のコンセプトは困っている患者様との奇跡的なご縁。祖父六助の六をもらい、また指圧が秋田に広まる事を願う。院名は「むつば指圧院」と決めた。

●浪越和民理事長来る

理事長とは不思議なご縁がある。お会いする度いつも温かく迎えてくれる。やたらと親しい。それもそのはず、「僕は昔秋田に疎開していたんだ。秋田弁は全部わかるぞ！」とニッコリと笑顔で話して下さった。それから徳治郎先生の事や指圧の事、昔の秋田等色々なお話を聞かせて頂いた。開業後の8月、理事長が私の指圧院に来たいと連絡があった。用意万端に準備していたが、コロナの拡大で延期となった。二度目は翌年の6月だったが直前に理事長が体調を崩されてほかの先生のみ来秋された。もうないだろうと残念に思っていたところ、「11月に行

く」と三度目の連絡を頂いた。開業以降この先も理事長を超える来賓はいない。私のお礼は指圧以外あり得なかった。理事長は治療中何度も「申し訳ない。私の背中が硬いだろう」と謝られたが、徳治郎先生と共にこれまで学校を背負ってこられた背中。計り知れない大変なご苦労をされていた事を、私は指を通して感じとらせて頂いた。真剣な指圧。あつという間の2時間。

「あー気持ち良かった。」と理事長。暫し満足の中、気になる点がひとつ。

私の指圧は浪越の基本指圧ではない。「我流ですみません」と詫言った。

理事長はにっこり笑って「村山君の指圧はちょっと変わってるけどね。心のこもったいい指圧だった。我流でいいんだ！君はそれでいい。」ホッとしたと同時に理事長の心の広さに感激した。

その夜互いに酒を酌み交わし、歌を歌い、腹を抱えて大笑いした。内容は書ききれず・・・。

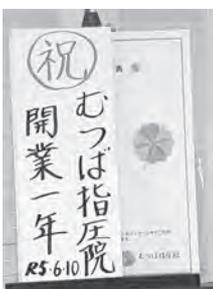
私は徳治郎先生の後ろ姿を見た事が無い。背中で語る理事長の後ろ姿は実に格好良く、私が年を取った時こんな後ろ姿になりたい。

心からそう思った。

●2023年を終えて

この場では書き尽くせない開業からの一年が過ぎた。奇跡的な出来事ばかり起こる一年。

これは天国で祖父六助が徳治郎先生にお願いしてくれたいと確信して



いる。むつば指圧院は、お陰様で開業半年で軌道に乗せる事に成功した。これは単に実力ではなく、これまでに出席した全ての方々との様々なご縁あつての事だと思ふ。

●これから

これまで多くの人から助けられた人生だったので、これからは助ける側に回ろうと思う。指圧に救われた人生なので業界の発展に少しでも貢献できればと思っている。

秋田に帰り、周りの皆さまには大変喜んで頂いているもの、一番喜んでくれているのは母親だと感じる。「指圧の心母ごころ」指圧と出逢い13年。指圧のところがやっとなわかってきた。



同窓生からの便り

浪越指圧センター町田院長

第58期 上田 寛貴先生

指圧と浪越学園に触れて

私は中学・高校時代に腰を痛めたり、体調を崩したりする時期がありました。そこで指圧やマッサージに辿り着き、施術を受けることで身体に良い影響が出ることを身をもって体感しました。そうしていくうちに、実際に自分でもやってみたいと思うになり、学校を探す過程で浪越学園に強い興味を持ちました。最初は様々な手技の違いなどが分からない状態でしたが、調べていくうちにだんだんと指圧に魅力を感じていったのを覚えています。



そんなこんなで無事入学が決まりましたが、今度は熊本県の田舎から大都会に出て一人暮らしをすることへの不安が生まれてきました。ですが、入学からほんの数週間ほどで、不安よりも楽しさの方が勝りました。大都会での生活は何もかもが新鮮で、学校はクラスメイトや先生方に恵まれ、充実した日々を過ごすことができたように感じます。在学中特に思

い出に残ったのが、トレーナー活動や、外部の方を指圧させていた機会

などです。そういった活動で沢山の方を施術させて頂いたおかげで、初めての方に指圧をすることに對しての恐怖心が徐々になくなっていききました。今に繋がるとても良い経験となりました。

卒業してからは、カナダの「Japan Shiatsum Clinic」で1年間お世話になりました。

入学して1年が経った頃、学校の掲示板に貼ってある妙に目を引く「カナダで指圧をやりますか?」といったような文言が書いてあるチラシを見つけ、そこから興味を持ち先生方にお話を聞きました。その後手続きなどもアドバイザーを頂き、一緒に渡航するメンバーと協力しながら準備を進め、順調に思えました。しかし、渡航直前で肝心の英語の勉強を全然していないことに気が付きました。そ

ういった状態だったので、面接の際に英語で自己紹介をしてくださいと言われた時は、今までの人生でかつて無いほどに頭が真っ白になりました。案の定上手くいかず、当時面接を担当して下さった方にしこたま怒られました(笑)。そこから、仕事以外にも積極的に英語を使う環境に身を置いてみたり、エージェントの方に英語の授業を頼んだりと色々とした結果、施術を受けられる方とのやり取りは少しずつ出来るようになっていきました。「英語を習得した」という状態とはかけ離れていたとは思いますが、異

国の地で違う言語でコミュニケーションを取りながら仕事をするのは今まで無かったもので、とても良い経験になりました。また、通りを歩いている時にいきなり心無い言葉を吐かれたり、精神状態が普通ではない方に絡まれたりといった出来事もありつつ、世の中には色んな人がいるのだなと勉強にもなりました(笑)。

日本に帰ってきてからは、現在の勤め先である浪越学園にお世話になっていきます。そして2022年7月、町田に「浪越指圧センター町田」がオープンし、私が院長を務める運びとなりました。浪越学園の卒業生の方が、引退に伴い場所を譲ってください、そこを引き継ぐ形でのオープンとなりました。とは言ったもののリフォームや手続きなどの必要はあり、場所探し以外はゼロからのスタートでした。慣れない書類作成や多くの手続きなど初めての事はばかりで大変でしたが、周りの方に助けて頂きながらなんとか開業まで持っていくことができました。

一人でどうにもならない時に、誰かに助けを求める事はとても大切な事だとこ



とあるごとにも感じます。コミュニケーションを取らず一人で抱えこんだ結果、他の方に迷惑になるより、相談できる方々が周りにいる時は、恥を忍ばず頼りにすべきだと心から思います。

私が浪越学園を卒業してもう7年が経ちました。沢山の経験を積ませて頂いています。色んな場面ですら良いか悩む場面が未だに多いように感じています。人生一生勉強だとつくづく身に沁み



同窓生からの便り

第24期 村岡 曜子先生

50年間学んだ基本指圧をなんとしても伝えたい

夏には二分脊椎症尻を持つお母さんへの取り組みも



指圧の教科書—基本指圧

私の指圧治療院は仕事をしながら外が見えるようになっていきます。もう10数年前になるでしょう。その春、治療院の通りの向かい側を、体を左

右に大きく振りながらつま先立ち歩行(尖足歩行)で学校へ向かう、真新しい制服の男子中学生を何気なく見ていました。「あの歩行をもう少し何とかできないものか」と、私は彼の下校時間が気になり始めたのです。

今の治療院の前は川越街道ですが、当時の治療院の前はそんなに大きな通りではありませんでした。ある日、通りがかった彼と目があつたような気がして、手を振ってみました。すると手を振り返してきたのです。

「なんとかわいい」

しかも翌日、通りのこちら側を歩いてきました。挨拶から会話に変わっていくのに時間はかかりませんでした。彼の話の中で、足が不自由なのは二分脊椎症だからとわかりました。彼の障害は腰椎3番です。これは、通常歩けない状況ですが、足が弱ることを心配して毎日一生懸命歩いていました。

指圧で二分脊椎症の改善に取り組む

二分脊椎症というのは、指圧学校では習ったことがない病気で脊椎の奇形です。自分で排便・排尿ができないと知り愕然としました。自分の尊厳を守ることさえ難しいのか。考えさせられる問題です。

指圧で少しでも改善できないものか。彼のお母さんの承諾を得るといふ前提で、仕事と仕事の間を工夫し、週5回少しずつ足の改善に向けて指圧を行うようになりしました。

二分脊椎症は、顕在性(開放性)二分脊椎症と潜在性二分脊椎症があります。前者は脳髄液がうまく循環できてない場合は、頭の中にバルブを埋め込みそこからシャントを入れて腹部に流すようにするそうです。シャントは、体が、成長し

長さが足らなくなったときは、再度開頭手術をします。たいへんな病気です。そんな中、2007年から10ヶ月の間、136回の部分指圧と22回の全身指圧を行いました。

当時指圧技術上達のため、桐朋学園大学の矢野龍彦教授に毎月足を運んでもらっていました。矢野先生はナンパ術の権威であり、公認上級陸上競技コーチです。この場に彼の機能改善のメニューを入れてもらったところ、歩行と自力排便が目に見えて改善されてきました。ほとんどボランテアでしたが、日々に状態が改善していくのを見るのが楽しく、やりがいのある毎日でした。

学会発表を機に先生方に励まされて

定期検診のときに担当医が驚き、学会発表を勧められました。

その結果、2009年7月4日(第26回、有楽町東京国際フォーラム)と2012年6月30日(第29回、ホテルポルトプラザ千葉2階ロイヤルII)の2回、日本二分脊椎研究会での発表となりました。その発表は指圧で排便の自立を得た例として注目を集め、医師らの中からは、「その手があつたか!」との声が出ていました。前指圧専門学校校長・石塚寛先生も2回とも会場に足を運んでくださり、折に触れて公の場でも評価をしてくださいました。石塚先生は医学博士で、徳島大学(国立)の名誉教授をしておられます。

この2回の学会発表がきっかけで、神戸にある公益財団法人二分脊椎・水頭症研究振興財団から研究助成金を受けました。当時の会長は故松本悟先生。戦時の海軍兵学校を卒業され、戦後は京都大学、アメリカ・シカゴのノースウエスター

ン大学で学ばれ、神戸大学名誉教授を務められた方でもあります。

その助成金で東京、青森、福岡の3名の二分脊椎症患者の指圧治療を行い、自力排便に導くことができました。この受賞式には選考委員長である新潟大学名誉教授生田房弘先生が、入り口で私を待って声をかけてくださいました。そのときの「たとえ1人でも良くしてください。」とのお言葉が今も耳朶に残り、いつもその一言を励みに圧しています。

もうひとつお伝えしておきたいことがあります。第29回日本二分脊椎研究会を長を務められた伊達裕昭先生(千葉県ども病院長)がこのあと、公益財団法人日本二分脊椎症・水頭症研究振興財団の機関紙「B&C」に、「第29回日本二分脊椎研究会学術集会を終えて」二分脊椎研究の成果と展望」と題した論文を掲載されました。その中で私たちの活動を評価してくださった箇所があります。ここに引用させていただきます。

「(前略)本症の排便管理については食事内容の検討から緩下剤の服用、浣腸や洗腸さらには順行性洗腸路の作成まで、これまでも様々な観点から考察されています。副交感神経の働きを高める『指圧』により浣腸、洗腸を脱した症例の報告(基本指圧研究会 村岡曜子治療院)は病院とは異なる視点からの発表であり、本研究会の特徴である多職種による検討の実践を見た思いがしました。(後略)」

この記事について、学会発表でいろいろご尽力をいただいた元都立墨東病院脳神経外科医長・藤原一枝先生からも、「光栄でした」とメールをいただきました。

夏には二分脊椎症児のお母さんへのDVDを

ただし、念のために申し上げておきま

すと、むやみに強く圧すことはマイナス効果を呼んでしまう可能性があります。二分脊椎症患者のデリケートな腹部を圧すには、慎重の上にも慎重に当たってください。現在、自力排便に至ったのは13名、そのほかにもう1歩という患者さんが何人もいます。今後も油断なく精進したいと思っています。

このような中、地方から訪ねてくださる熱心な親子さん達があり、お母さんに指圧を教えることになってきました。自宅毎日子供のお腹や足を圧すことで自力排便を可能にした例もあります。電話やファックス、動画などを有効に使い、なんとしても子供の改善につなげたいという熱意には圧倒されます。今は小さい子供たちのお母さんに指圧を覚えてもらい、自宅で毎日お腹を圧してもらおうということが当たり前に行われています。

私が2019年7月に発売したDVD、「指圧の教科書」(特定非営利活動法人基本指圧研究会動画)を見て勉強しておられる方も大勢いらっしゃいます。なかには指圧学校へ入学して国家試験を通り、プロの指圧師として仕事をしている方も出てきました。とても嬉しいことだと思っています。

今年夏ごろまでには、お母さんが指圧を覚えるためのDVDを発表する予定もあります。2歳3か月の男の子を持つお母さんと、小学校3年生の女の子のお母さんに教えて行く過程を映像化しました。

長年地道に圧してきた結果が、今大きく広がりを見せてきています。「1人でも良くしてください。」という言葉が心に深く響いてきます。

第16回学園祭

ゆびまつり

第58期 中村 愛先生

2023年9月9日(土)、4年ぶりとなる学園祭が開催されました。

コロナ禍真っ只中を経験している在校生にとっては、初の学校行事となります。同日に表町町会のお祭りも開催され、学校周辺は訪れた沢山の人で賑わっていました。

朝方の小雨の影響で少し蒸し暑さもあり、お祭り気分も相まって熱気むんむん!

今年の学園祭は校舎が新しくなった事もあり、例年とは少し違うラインナップでお届け!

恒例の「指圧体験」はもちろん、NAMCによる「ハンド・フットマッサージ」、指圧研究会による「スマホ近眼に対する指圧実験」、更にロコモティブシンドローム度テストに加え、本校教員による「ヨガ指圧講座」に「ボディメイク講義」と『身体を知る』に特化した内容となりました。

また、今年初の試みでキッチンカーを導入!ケバブサンドを買って校内の休憩スペースに移動すると、中では緑日や音楽クラブによるミニライブも開かれ、訪れた家族連れのお客さんで大盛り上がり。



賑やかな声の先には「あら!」卒業生がお子さんを連れて遊びに来てくれているではありませんか!在校生も教職員も、ご家族紹介があちらこちらで嬉いですね。

締めは校舎前通りで、お祭りに訪れた方々や町会の皆さんと一緒に、指圧連の演舞です!

「踊る阿呆に見る阿呆同じ阿呆なら踊らにゃそんそん♪」
 なんだか懐かしくも感じるわいわいと
 した雰囲気。

「やっぱり人との繋がりは大切だなあ」と強く感じる学園祭となりました。

また来年も遊びに来てくださいね♪

事務局 中村

令和7年度(2025年度) 総合型選抜(AO) 入学試験 日程

試験区分	エントリーシート受付期間	試験日時(面接)
第一次	6月3日(月)～6月13日(木)	6月16日(日) 午前9:30～
第二次	6月24日(月)～7月10日(水)	7月13日(土) 午後6:30～
第三次	7月22日(月)～7月30日(火)	8月2日(金) 午前9:30～
第四次	8月6日(火)～8月22日(木)	8月25日(日) 午前9:30～

令和7年度(2025年度) 入学試験 日程

	出願受付期間	試験日時
社会人一次入学試験	9月2日(月)～9月18日(水)	9月21日(土) 午後2:00～
学校推薦型選抜(推薦入試)	10月1日(火)～10月10日(木)	10月13日(日) 午前9:30～
社会人二次入学試験	10月1日(火)～10月10日(木)	10月13日(日) 午前9:30～
一般入学試験(一次)	11月1日(金)～11月7日(木)	11月10日(日) 午後9:30～
一般入学試験(二次)	11月25日(月)～12月11日(水)	12月14日(土) 午後2:00～
一般入学試験(三次)	1月6日(月)～1月14日(火)	1月17日(金) 午後6:30～
一般入学試験(四次)	1月27日(月)～2月5日(水)	2月8日(土) 午前10:00～
一般入学試験(五次)	2月17日(月)～2月26日(水)	3月2日(日) 午前9:30～
特別入学試験	3月3日(月)～3月11日(火)	3月14日(金) 午前9:30～

*詳細は日本指圧専門学校事務局までお尋ねください。TEL03-3813-7354

第65期 卒業式

第65期卒業式が3月2日(土) 日本指

圧専門学校の校舎にて14時から執り行われた。金子智久先生の司会で、君が代斉

唱の後、卒業証書の授与に移る。59名の卒業生は、大久保直子先生、石塚洋之先生、大木慎平先生の呼名を受け、専門士の称号と卒業証書を手にした。浅谷健介校長が一人一人に「おめでとう!」という声をかけながらの授与となり、その温かな雰囲気印象的であった。

皆勤賞、優等賞と表彰が続き、さらに部活動に活躍した学生が多数表彰を受けた。コロナ禍において3年間皆勤した3

名には特に称賛の拍手を送りたい。続いて東洋療法学校協会賞がB組の神田香世子さんに手渡され会場は拍手喝采に包まれた。浅谷校長、浪越和民理事長より指

圧師としての心得、大崎益弘同窓会長、岡野雄司理事から貴重なご自身の経験に基づくエールを頂戴した。黒澤永之さんによる3年間の思いが詰まった卒業生の言葉も涙を誘った。校歌斉唱し閉式。閉式後とも思い出を語り合う表情はとても晴れ晴れとしたものであった。



3年間の学校生活を を終えて A組 上山かおり

私達65期生が入学した当初は、まだまだコロナが猛威を振るっていた時期でした。学校行事等のイベントもしばらくは中止や制限せざるを得ない状況で、閉塞感漂う日々が続きました。

3年生になって、少しずつコロナの制限も緩和されていき、ようやく例年通りの規模で学園祭が開催されました。学園祭では、近隣にお住まいの方や在校生のご家族の方、OBの方々など沢山の方が来校されました。久々の開催ということもあり、ワイワイと賑やかな声が校内に溢れていて、いつもの学校生活とはまた違った新鮮な光景を見ることができました。

令和6年3月2日、私達は卒業の日を迎える事ができました。3年をかけて一つ一つの積み上げてきた達成感と、これまでの感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

そして、ここからがまた新たなスタートです。失敗する事もたくさんありますが、失敗を無駄にせず、いつか学校に恩返しができる様に自己研鑽を重ねていきたいと思います。

最後に、沢山の情熱を注いでご指導頂いた先生方、いつも笑顔で迎えて下さった事務局の皆さん、共に過ごした65期生の皆さん、温かく送り出してくれた在校生の皆さん、親身になってアドバイスを下さった卒業生の皆さん、そしていつも傍で見守っていてくれた家族に感謝を申し上げます。3年間本当にありがとうございました。



支えてくれた皆様 ありがとうございました B組 芦澤洸太

僕たち65期の一年目は新型コロナウィルスの影響で、マスクの着用により、表情がわかりづらく、顔と名前を覚えることが大変でした。その為学校生活で不安に感じることも多かったのです。しかし実技の授業の多さやクラスの明るさもあって、すぐに打ち解ける事ができ、次第に楽しくなっていました。

授業は、最初人の身体を触る事はもちろん、聞いたことのない言葉ばかりだったので、つまずく事が多かったですが、先生やクラスメイトに最後まで支えられて、卒業する事が出来ました。特に実技の授業は決められた場所を押す事も難しく何度も心が折れそうになりましたが、2年生になる頃には自分で施術の計画を立てられるようになるまで成長する事が出来ました。またその成長は自分だけでは無く実技でペアを組んだ相手も同じように成長していることを感じ、互いに意見を出し合い、成長し合える最高の環境に入れたことを改めて実感する事が出来ました。

他にも文化祭や部活動などもあり、特に富山のボランティア指圧では、自分の指圧で人が喜んでくれるかと、施術に入るまでは不安でしたが、実際に施術させていただくと大変喜んで頂き自分に自信を持ち、資格を取得後は、色々な人を施術し、感謝される人間になろうと思えました。

最後に一緒に授業を受け切磋琢磨しながら過ごしたクラスメイト、勉強が苦手な不器用な自分を支えてくれた先生方、ここまで来れたのも皆様のおかげです、ありがとうございました!



60歳からの 喜び C組 落合 伸一

私は60歳の定年を機に日本指圧専門学校の門を叩きました。皆さんの中にはなぜ今更と感じる方も多いかと思えます。実際私が入学した夜間部でさえ60代は私を含め2名しかいませんでした。

給料は下がっても雇用延長で65歳まで働く人もいましたが、会社のために心を減らしてまで働くモチベーションがなかったのが正直なところです。かと言って60歳で定年退職し何の用事もなく毎日をごろごろと生活するだけの人生で終わりたいくないという気持ちが強かったのも事実です。そんな折訪問マッサージと言う仕事を知ったのは知り合いの指圧治療院の先生でした。先生に無理を言っていて訪問の現場を一度見学させてもらいました。脳性麻痺やパーキンソン病で苦しむ患者様は先生が来るだけで、「笑み」を浮かべ帰る際には「とても楽になった」と言葉には出せなくても喜びの気持ちは先生への感謝の気持ちはそばにいた私にも伝わって来ました。この感覚はストレスの多い会社員時代には味わったことのないものでした。自分も寝たきりで苦しむ患者様の「笑顔」を見てみたい。その一心が第二の人生を訪問マッサージという仕事に捧げたいと決意した動機です。国試も終わり学校からの模範解答と照らし合わせ合格圏内と分かった時は達成感と安堵の気持ちでいっぱいでした。同時に念願の訪問マッサージの仕事ができる喜びが湧き上がってきました。いざ訪問の現場に行くようになると大変なこと多々ある事は承知していますが、初心を忘れることなく患者様そしてそのご家族様は元よりケアマンをはじめ医療従事者の方々に信頼される医療人になることを目指したいです。その為にも学校で学んだ知識や技能を土台に日々の精進をがんばりすぎず少しずつでも「継続する」ことが重要だと思えます。そして自分自身の健康にも留意しながらできるだけ長く訪問マッサージに携わって行けたらと思っています。最後になりますが、冒頭に触れましたが定年を迎えた方々が日本指圧専門学校に多数入学されることを節に願います。それだけ訪問マッサージは定年を迎えた方にとってとても生きがいのもてる良い仕事だと思っております。

寄付金賛助者ご芳名

令和五年度寄付金

一三八件

六三五、〇〇〇円

★匿名希望
雄一⑤③浅谷健介⑤④今井智枝

☆八千円

②⑧畑中糸美③⑦石塚怜子④⑨田中功⑤⑩田中慶篤

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期(敬称略、順)

☆七千円

⑤⑥河北剛

☆五万円

②④柿崎隆司

☆六千円

②⑩藤田一彦②④伊藤次雄③⑨板谷智⑥①鈴木健介

☆二万円

⑦(故)山口昌敏

☆五千円

②⑩海上富雄②①佐藤栄光④⑥高野哲彦⑤③河内誠二⑤③神田裕幸⑤⑥八本竜司⑤⑧安保勝

☆一万三千元

⑥④桃谷勇成

☆四千元

③②鈴木啓一③⑨佐瀬由香里④④中野成人

☆二万円

①⑦小林秋朝①⑧広本義人③④丸井秀人④⑩三田利幸④⑫馬場

☆三千元

④村越てい子⑧仁科義介⑨

☆二千元

④山川友枝①①滝口茂子①⑨飯島幸雄②②高木二朗太②④藤森増雄③⑥小倉義夫④④浅野久美

勝尾圭三①①細谷節子①①眞間

時男①⑥中村健一①⑧原忠雄①⑧

梅沢宗仙①⑨別宮裕三②②服部

青香②②高坂貞造②②橋本二郎

②③馬場正義②⑦内城勇造②⑦田

中克幸②⑦佐々木淑公②⑦柴

田俊久②⑦浪越雄二②⑧藤井厚

子②⑧小澤秀行②⑨関根康博③⑩

河合秀雄③⑩宇佐美七海③⑩大

場秀子③⑩山下泰治③⑩石井ヒ

サエ③⑩中山節③⑩木暮晴雄③⑩

粟村輝子③⑩末永洋子③⑩平野

広樹③⑩荒木麻那美③⑩柴田ひ

ろみ③⑩横川純夫③⑩佐藤清子

③⑨大谷浩二郎④④吉田憲生④④

碓田雅子④④休宮清彦④④長島

明④⑤北條崇成⑤⑤鈴木康尊⑤⑤

岡本京子⑤⑤石田浩⑤⑤櫻田知

也⑤⑤高野良治⑤⑤黒田尚美⑤⑤

姫路雄紀⑤⑦小泉浩記⑤⑧福田

慎一郎⑥⑥野上有子⑥⑥伊藤麻

里⑥⑥木村明美⑥⑥草木昌一⑥⑥

櫻井聡

子④④齋藤浩④④ホガード殿子

④⑤小林章一④⑤宮下雅俊④⑤山

崎陟④⑥川篤健嗣④⑦當麻康江

④⑨中盛祐貴子⑤①大崎益弘⑤②

一瀬衛子⑤②大澤昌裕⑤⑤土屋

貴洋⑤⑥角本靖司⑤⑨田口文隆

⑥①里由佳子⑥②清水俊一⑥③関

義仁⑥③齋藤裕子⑥③尾上雅之

⑥④緒方和宏

☆千円

⑥⑥海洋新之助①②岩切秀樹①③

鳥実専二①⑥米木安男①⑦平井

伸穂①⑦平井浩子①⑦戸来みや

子①⑦萩原嘉寿代①⑦糸井正子

①⑧片山晶子①⑧堀江秀樹①⑨天

海誠①⑨新村忠志①⑨榎本紀次

①⑨麻生島勇②②下田文子②②渡

部武利②②青木豊②②渡辺正雄

②③森岡忠司②④中村陽子②④向

井豪②④田川博②⑤関伊智朗②⑤

中澤雅啓②⑤北村雅彦②⑤工藤

文宏②⑤糸井主好②⑥杉山保雄

②⑥笠原正親②⑥青山晴基②⑥野

口雅子②⑥佐藤優②⑦内山直行

②⑦鈴木民江②⑨西川保洋③③北

原一秀③③田中伸明③③小野紘

緑③③梅枝千代子③③佐藤良一

③④大城裕子③④西海泰子③⑤清

藤幸代③⑥岡崎浩二③⑧本間陽

一③⑧木村龍一郎③⑧小林信行

③⑧篠崎嶺③⑨湯口信雄③⑨鶴田

弘二③⑨長江光一④④田沢佳世

子④④小林延行④④相澤寛和④④

本間博④④柳将博④④上田康弘

④④中田健二④④相澤文隆④④中

野俊夫④④加藤勉④④入江徹④④

石井勝雄④④小野朋子④④佐久

間崇④④大野まゆみ④④鈴木喜

美子④④岡野昭④④重森祐二④④

谷内克大④④加藤正毅④④星野

智④④角伸浩④④鈴木啓太④④高

木諭④④藤本かおる④④北山貴

康④④込山哲郎④④竹内高雄④④

中西信之④④菊崎力デナ④④瀧

澤美恵④④市原佑里④④田村威

樹④④大岩治男④④廣田哲也④④

寺内由香④④丸山一郎④④長谷

部佳代④④熊田友香子④④加藤

恵美子④④濱田大輔④④伊藤勝

基④④染谷大介④④大竹善文④④

新井乃婦代④④関根由記子④④

高橋正浩④④大平和雄④④平田

玲子④④遠藤登④④喜多野智之

④④吉富和徳④④前田孝政④④徳

史⑥⑥中川健一⑥⑥砂山典子⑥⑥

高橋修一⑥⑥竹崎美香⑥⑥福田

隆雄⑥⑥中村三千代⑥⑥町田和

行⑥⑥宅和由香里⑥⑥森岡健⑥⑥

中村裕美子⑥⑥山中秀樹⑥⑥谷

川直⑥⑥川島敦⑥⑥阿部敬⑥⑥青

柳恵里奈⑥⑥本間智子⑥⑥大草

久幸

予算・決算・収支報告書

予算案

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

貸借対照表

日本指圧専門学校同窓会
令和6年3月31日現在

収入の部			
	令和5年度予算	令和5年度決算	令和6年度予算
前年度より繰越	8,454,461	8,444,513	7,501,693
入会金	1,050,000	1,035,000	750,000
運営費	750,000	736,000	750,000
総会収入	500,000	242,000	500,000
預金利息	40	65	50
その他収入	0	41,580	0
寄付金	650,000	635,000	650,000
講習会費	0	0	0
収入合計	11,404,501	11,134,158	10,151,743

資産の部		負債及び正味資産の部	
現金	48,067		
三菱UFJ普通口	4,368,177	(正味資産の部)	
ゆうちょ銀行	3,085,449	余剰金	7,501,693
合計	7,501,693	合計	7,501,693

令和五年度収支報告書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

支出の部			
	令和5年度予算	令和5年度決算	令和6年度予算
総会費	1,500,000	660,860	1,500,000
講習会費	600,000	302,000	600,000
会報発行費	1,200,000	1,183,562	1,500,000
通信費	300,000	257,632	300,000
印刷費	30,000	0	30,000
渉外費	50,000	42,000	50,000
交通費	100,000	99,472	100,000
慶弔費	30,000	29,790	50,000
事務用品費	30,000	19,736	30,000
雑費	30,000	0	30,000
情報管理費	200,000	188,483	300,000
役員会議費	20,000	13,980	150,000
設備使用料	36,000	36,000	36,000
予備費	100,000	0	100,000
新規事業費	800,000	798,950	1,300,000
事務活動費	30,000	0	30,000
支出合計	5,056,000	3,632,465	6,106,000
次年度繰越	6,348,501	7,501,693	4,045,743

収入の部			
	令和5年度予算	令和5年度決算	内訳
入会金	1,050,000	1,035,000	69名分
運営費	750,000	736,000	368名分
総会収入	500,000	242,000	懇親会参加費、理事長ご祝儀
預金利息	40	65	ゆうちょ銀行 三菱UFJ銀行 利子
寄付金	650,000	635,000	238名分
講習会費	0	0	
その他収入	0	41,580	東京海上日動 払戻金
当期収入合計	2,950,040	2,689,645	A
前期繰越収支差額	8,454,461	8,444,513	B
収入合計	11,404,501	11,134,158	A+B

支出の部			
	令和5年度予算	令和5年度決算	内訳
総会費	1,500,000	660,860	機山館懇親会費、送迎タクシー手配、特別講演講師謝金
講習会費	600,000	302,000	研修講師謝金、会場使用料、スタッフ交通費
会報発行費	1,200,000	1,183,562	会報第43号 旭出版
通信費	300,000	257,632	郵便別納料金、振込手数料、切手代
印刷費	30,000	0	
渉外費	50,000	42,000	指圧協会新年会会費、祝い金、65期卒業祝い金
交通費	100,000	99,472	役員交通費
慶弔費	30,000	29,790	指塚供養会費、卒業生開業祝い生花代
事務用品費	30,000	19,736	文房具、領収書等
雑費	30,000	0	
情報管理費	200,000	188,483	名簿データCD作成、ホームページサーバーレンタル料
役員会議費	20,000	13,980	役員会議飲料
設備使用料	36,000	36,000	母校へコピー機、電話等施設利用料として
予備費	100,000	0	
新規事業費	800,000	798,950	母校へ新校舎落成記念品贈呈(解剖模型)、ホームページリニューアル費用前金
事務活動費	30,000	0	
当期支出合計	5,056,000	3,632,465	C
当期収支差額	(2,105,960)	(942,820)	A-C
次年度繰越	6,348,501	7,501,693	A+B-C

令和6年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会長 大崎 益 弘 印
 会計 高橋 雄 輔 印
 青木 美 稚 子 印
 監査 渡邊 和 雄 印
 角本 靖 司 印

2024 (令和6) 年度 通常総会・懇親会

日時：令和6年6月9日(日) 10時30分(受付：10時～)

【通常総会】

会場：ホテル機山館

住所：東京都文京区本郷4-37-20

TEL:03-3812-1211 (地図参照)

アクセス：地下鉄本郷三丁目駅より徒歩2分(1, 2番出口または3番出口)

内容：総会(10:30～11:30)

活動報告、会計報告、監査報告、予算案

【懇親会】

会場：ホテル機山館

住所：東京都文京区本郷4-37-20

TEL:03-3812-1211 (地図参照)

アクセス：地下鉄本郷三丁目駅より徒歩2分
(1, 2番出口または3番出口)

時間：12:00～14:00

会費：卒業生 7,000円 在校生 無料

申込：会報誌に同封されておりますハガキにて
出欠をお知らせください。



本郷三丁目からの地図 (HPより)

運営費納入のお願い

毎年のお願いではございますが、運営費のご協力をお願い申し上げます。運営費は会員間の親睦を図るため会報の発行、名簿の整理、研修会の実施などに使用されております。

同封の振込用紙をご参照の上、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

総会会費について

令和6年6月9日に同窓会総会、懇親会を行います。懇親会へ参加ご希望の方は、同封の振込用紙をご参照の上、7,000円のお振込みをお願い致します。

編集後記

新緑が芽吹き、爽やかな春風が心地よく、太陽の日差しも私たちの心を和らげてくれるととても過ごしやすい季節を迎え、身も心も活動的になってきますね。

また、新年度を迎え、お忙しい中皆様ご活躍の事と思います。

我が浪越学園も4月より新入生をお迎えし、元気に挨拶をしてくる学生達に心引き締まる思いです。また、指圧という手技療法の中の素晴らしい技術を学び、身に付けたいと思われるお知り合いの方々がいらつしやいましたら是非ご入学をお考え頂けますようお願い下さいます。素晴らしい環境と、素敵なスタッフがお待ちしております。

今回で同窓会会報誌も第45号を発行するに至ることが出来ましたことを心から感謝致しますと共に、同窓生の益々のご活躍、ご発展をお祈り致します。

同窓会は学生、教職員、卒業生を繋ぐ礎です。「指圧のこのころ 母のころ」を胸に刻み同窓会を皆で盛り上げて行きたいと思っております。今年度は同窓会研修会を数回にわたり開催予定です。同窓生の皆様、お誘いあわせの上ご参加下さい。指圧療法に役立つ内容をご用意してお待ちしております。最後に同窓生の皆様のご多幸をお祈り致します。

(金子智久)